

1. 科目名 (単位数)	アメリカの文化と言語 I (2単位)	3. 科目番号	GECM1111 GECM1311
2. 授業担当教員	阿部 裕子		
4. 授業形態	講義、ディスカッション、発表等	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	これからの国際社会に対応していくためには英語でのコミュニケーション能力が必要となってくる。一定の英単語や文法などの暗記学習も必要だが、表現力に重点を置いた4技能(聞く・話す・読む・書く)を養うことを主な目的とする。英語を使いこなせるようになるためには、日本語とは異なった英語の言語学的特徴(発音、文法、語法等)を理解しておくことが大切である。また、英語という言語の背景にある、アメリカ文化への理解にも重点を置く。		
8. 学習目標	1. 表現力を重視した形で、英語の4技能(聞く、話す、読む、書く)をバランス良く向上させること 2. 1)を達成するために、英語の言語学的特徴(発音、文法、語法等)を理解すること 3. 多文化としてのアメリカ文化について知的好奇心を高め理解すること		
9. アサインメント(宿題)及びレポート課題	1. 主体的に学習を行う上で基礎となる事前学習・事後学習を各自十分に行うこと。 2. 長期休暇における課題は、「アメリカの人種問題に関する考察」とする。指示に従いA4用紙にまとめ、長期休暇後最初の授業時に提出すること。 3. 期末レポートのテーマは、「授業を通して学んだアメリカ文化事情および異文化理解に対するあなたの考え」とする。A4用紙に1200字程度で記載し、第15回目の授業時に提出すること。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書 William A. O' Donnell 他著『Life Across the Waves 楽しいアメリカ生活』成美堂、2016。プリント教材も適宜使用する。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	●成績評価の規準(学習目標) 1. 表現力を重視した形で、英語の4技能(聞く・話す・読む・書く)をバランス良く向上させて、応用できるようになったか。 2. 1.)を達成するために、英語の言語学的特徴(発音、文法、語法等)を理解して、表現できるようになったか。 3. 多文化としてのアメリカ文化について知的好奇心を高め、理解することで、説明できるようになったか。 ●評定の方法 試験・レポート:30% 小テスト・発表・スピーチ等:30% 課題(長期休暇課題・レポート等):20% 受講態度等:20%		
12. 受講生へのメッセージ	1. 英語力やコミュニケーション力を高めるうえで重要なことは、常に勇気を持ってチャレンジし、目標に向かってやり抜く精神です。受身的姿勢ではなく積極的かつ意欲的に授業に参加することを望みます。 2. 当授業の単位を修得するためには、各授業の予習・復習を合わせて計4時間の学習時間が必要です。自身の学習計画にきちんと組み入れ、実行していく必要があります。 3. 対面授業の場合は、小テスト(#1~3)全てを受けること。また遠隔授業・併用型であった場合は、2つの課題レポート提出をもって代用します。小テストまたは課題レポート提出はすべて上記「11. 成績評価規準」の対象となります。 4. 「授業中の私語、居眠り、スマホの使用、頻繁な遅刻や教科書を忘れる」を禁じます。それに反した場合は上記「11. 成績評価規準の受講態度等」評価点の減点対象とします。また、本学の規定による4分の3以上(15回中12回以上)の出席が単位修得に必要です。 5. クラス状況および本学の授業計画表に応じて、授業内容や順番を調整・変更する場合があります。		
13. オフィスアワー	初回授業時に周知します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション: シラバスの確認、授業概要及び異文化を学ぶ意義について	事前学習	教科書は必ず購入し、「はじめに」「目次」及び「授業で取り上げるChapter(章)」に目を通し内容を確認しておく。
		事後学習	本授業を受講するにあたっての留意点を振り返り、英語学習の目標設定と自分に適した学習方法・時間配分等を確認しておく。
第2回	第1章: Making Friends	事前学習	1. 第1章(pp.1~5)のわからない英単語を調べ問題もすべて解答しておく。2. 本文ReadingとDialogの概要を把握しておく。
		事後学習	1. 授業で取り扱った内容を再確認し、指摘された英文・慣用表現等の記憶を定着させる。2. 本文ReadingとDialogを精読し、音読を繰り返す。
第3回	第2章: Renting an Apartment	事前学習	1. 第2章(pp.6~10)のわからない英単語を調べ問題もすべて解答しておく。2. 本文ReadingとDialogの概要を把握しておく。
		事後学習	1. 授業で取り扱った内容を再確認し、指摘された英文・慣用表現等の記憶を定着させる。2. 本文ReadingとDialogを精読し、音読を繰り返す。
第4回	第3章: Setting up a Bank Account	事前学習	1. 第3章(pp.11~15)のわからない英単語を調べ問題もすべて解答しておく。2. 本文ReadingとDialogの概要を把握しておく。
		事後学習	1. 授業で取り扱った内容を再確認し、指摘された英文・慣用表現等

			の記憶を定着させる。2. 本文Reading と Dialog を精読し、音読を繰り返す。
第5回	第5章:Traveling in the United States 小テスト#1 (課題レポート#1)	事前学習	1. 第5章(pp.21~25)のわからない英単語を調べ問題もすべて解答しておく。2. 本文Reading と Dialog の概要を把握しておく。3. 小テスト#1(第1, 2, 3章及び配布プリント)の準備をする。
		事後学習	1. 授業で取り扱った内容を再確認し、指摘された英文・慣用表現等の記憶を定着させる。2. 本文Reading と Dialog を精読し、音読を繰り返す。(3. 課題レポ提出の場合は翌週提出の準備をする。)
第6回	第9章:The Neighborhood Party	事前学習	1. 第9章(pp.41~45)のわからない英単語を調べ問題もすべて解答しておく。2. 本文Reading と Dialog の概要を把握しておく。
		事後学習	1. 授業で取り扱った内容を再確認し、指摘された英文・慣用表現等の記憶を定着させる。2. 本文Reading と Dialog を精読し、音読を繰り返す。
第7回	第10章:Ordering Pizza	事前学習	1. 第10章(pp.46~50)のわからない英単語を調べ問題もすべて解答しておく。2. 本文Reading と Dialog の概要を把握しておく。
		事後学習	1. 授業で取り扱った内容を再確認し、指摘された英文・慣用表現等の記憶を定着させる。2. 本文Reading と Dialog を精読し、音読を繰り返す。
第8回	第11章:Holidays in the United States 小テスト#2 (課題レポート#2)	事前学習	1. 第11章(pp.51~55)のわからない英単語を調べ問題もすべて解答しておく。2. 本文Reading と Dialog の概要を把握しておく。3. 小テスト#2(第5, 9, 10章及び配布プリント)の準備をする。
		事後学習	1. 授業で取り扱った内容を再確認し、指摘された英文・慣用表現等の記憶を定着させる。2. 本文Reading と Dialog を精読し、音読を繰り返す。(3. 課題レポ提出の場合は翌週提出の準備をする。)
第9回	第13章:Complaining	事前学習	1. 第13章(pp.61~65)のわからない英単語を調べ問題もすべて解答しておく。2. 本文Reading と Dialog の概要を把握しておく。
		事後学習	1. 授業で取り扱った内容を再確認し、指摘された英文・慣用表現等の記憶を定着させる。2. 本文Reading と Dialog を精読し、音読を繰り返す。
第10回	第14章:Farmers' Markets	事前学習	1. 第14章(pp.66~70)のわからない英単語を調べ問題もすべて解答しておく。2. 本文Reading と Dialog の概要を把握しておく。
		事後学習	1. 授業で取り扱った内容を再確認し、指摘された英文・慣用表現等の記憶を定着させる。2. 本文Reading と Dialog を精読し、音読を繰り返す。
第11回	第16章:College Towns 小テスト#3 長期休暇課題について	事前学習	1. 第16章(pp.76~80)のわからない英単語を調べ問題もすべて解答しておく。2. 本文Reading と Dialog の概要を把握しておく。3. 小テスト#3(第11,13,14章及び配布プリント)の準備をする。
		事後学習	1. 授業で取り扱った内容を再確認し、指摘された英文・慣用表現等の記憶を定着させる。2. 本文Reading と Dialog を精読し、音読を繰り返す。3. 長期休暇課題レポート作成に着手し、期限までの完了・提出を確認する。
第12回	第17章:American History 長期休暇課題の提出 期末レポートについて	事前学習	1. 第17章(pp.81~85)のわからない英単語を調べ問題もすべて解答しておく。2. 本文Reading と Dialog の概要を把握しておく。
		事後学習	1. 授業で取り扱った内容を再確認し、指摘された英文・慣用表現等の記憶を定着させる。2. 本文Reading と Dialog を精読し、音読を繰り返す。3. 期末レポートの準備に着手する。
第13回	第20章:Washington, District of Columbia(D.C.) 外国語活動の発表について	事前学習	1. 第20章(pp.96~100)のわからない英単語を調べ問題もすべて解答しておく。2. 本文Reading と Dialog の概要を把握しておく。
		事後学習	1. 授業で取り扱った内容を再確認し、指摘された英文・慣用表現等の記憶を定着させる。2. 本文Reading と Dialog を精読し、音読を繰り返す。3. 外国語活動発表の準備をする。
第14回	外国語活動の発表	事前学習	対面授業の場合は、英語の原稿を見ずに発表ができるようになるまで練習を重ねておく。一方、遠隔授業・併用型の場合は、取り扱うテーマ及び発表方法が異なる。
		事後学習	自身の発表を振り返り、英語表現力を更にも高めるための改善点を考えてみる。
第15回	本授業のまとめ・発表 期末レポート提出	事前学習	1. 期末レポート(9.-3参照)を完了する。2. 初回授業時に設定した自分の学習目標に対する達成度を査定してみる。
		事後学習	本授業で使用した教科書、配布プリント及び自身のノートなどに再度目を通し、自己分析をしながら英語表現力の更なる向上を目指して自律的学習の習慣化計画を立てる。